

# 麻機遊水地保全活用推進協議会

## 第15回 合同部会

日時：令和6年2月20日（火）19：00～20：30

場所：葵生涯学習センター（アイセル21）

3階 第31集会室

### <議事次第>

#### 1. 開会

#### 2. 報告事項

- (1) 第14回合同部会、第16回総会の議事概要について（資料1）
- (2) 令和5年度協議会決算見込み（資料2）
- (3) 令和6年度協議会予算（案）（資料3）
- (4) 令和5年度取組み報告および令和6年度取組み計画（案）（資料4）
- (5) 民間企業・団体との連携について（資料5）
- (6) 麻機遊水地保全活用行動計画第3期計画について（資料6）
- (7) 麻機遊水地生きもの図鑑の発行について（資料7）
- (8) 麻機遊水地の植生について（資料8）
- (9) 協議会生物調査データの公開について（資料9）
- (10) 令和6年度の遊水地フェスタについて（資料10）
- (11) 麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について（案）（資料11）

#### 3. その他

- (1) 第1工区「あさはた緑地交流広場」近況報告（資料12）

#### 4. 質疑応答・意見交換

#### 5. 閉会



### 第15回合同部会 出席者名簿

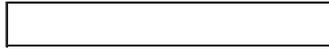
NO	参加者名	所属団体名	所属部会
1	後藤 昌徳	麻機湿原を保全する会	自然再生部会(部会長)
2	石上 恭平	麻機ウェットランドクラブ/麻機村塾	自然再生部会(副部会長)
3	松浦 孝	麻機ウェットランドクラブ	自然再生部会
4	村田 洋子	麻機ウェットランドクラブ	自然再生部会
5	杉井 円	東部生涯学習センター	自然再生部会
6	上川 雄司	静岡流通センター	地域活性化部会(部会長)
7	剣持 邦昭	あさはた緑地公園愛護会	地域活性化部会(副部会長)
8	濁澤 直也	静岡流通センター/麻機遊水地柴揚げ漁保存会	地域活性化部会
9	竹下 博実	ペーテル麻機部会	ペーテル麻機部会(部会長)
10	進藤 弘之	(株)ニュージェック	ペーテル麻機部会
11	安藤 一整	(株)古川組	ペーテル麻機部会
12	渡邊 勝一	静岡市立観山中学校	—
13	村松 可菜	あさはた緑地管理事務所	—



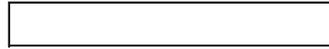
# 麻機遊水地保全活用推進協議会 第15回合同部会 座席表

都市計画部 緑化政策担当部長 杉村 則久	緑地政策課 参与兼大規模公園係長 吉川 晴英	緑地政策課 主任技師 堀井 由起	緑地政策課 主任主事 中島 裕也	河川改良課 主査 柴田 直紀	河川改良課 班長 西村 昌史	河川改良課 課長 岡村 修幾	企画検査課 課長 高山博之	企画検査課 主査 野中千栄子
----------------------------	------------------------------	------------------------	------------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------

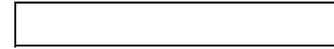
静岡市	静岡市	静岡土木	静岡土木
-----	-----	------	------



●	●
ペーテル麻機部会長 ペーテル麻機部会 竹下 博実	静岡市立親山中学校 渡邊 勝一



●	●
自然再生部会長 麻機湿原を保全する会 後藤 昌徳	静岡東部生涯学習センター 杉井 円



●	●
地域活性化副部会長 あさはた緑地公園愛護会 剣持 邦昭	地域活性化部会長 静岡流通センター 上川 雄司



●	●
(株)古川組 安藤 一整	(株)ニュージック 進藤 弘之



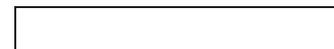
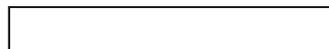
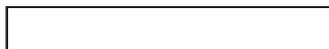
●	●
自然再生副部会長 麻機ウェットランドクラブ 石上 恭平	麻機ウェットランドクラブ 杉浦 孝



●
静岡流通センター 濁澤 直也



●	●
麻機ウェットランドクラブ 村田 洋子	あさはた緑地管理事務所 村松 可菜





麻機遊水地保全活用推進協議会  
第 14 回合同部会・第 16 回総会 議事概要

第 14 回合同部会 議事概要

1. 開催日

令和 5 年 11 月 2 日（木） 19：00～20：30

2. 場所

静岡市役所 本館 3 階 第 1 委員会室

3. 議事次第

(1) 開会

(2) 報告事項

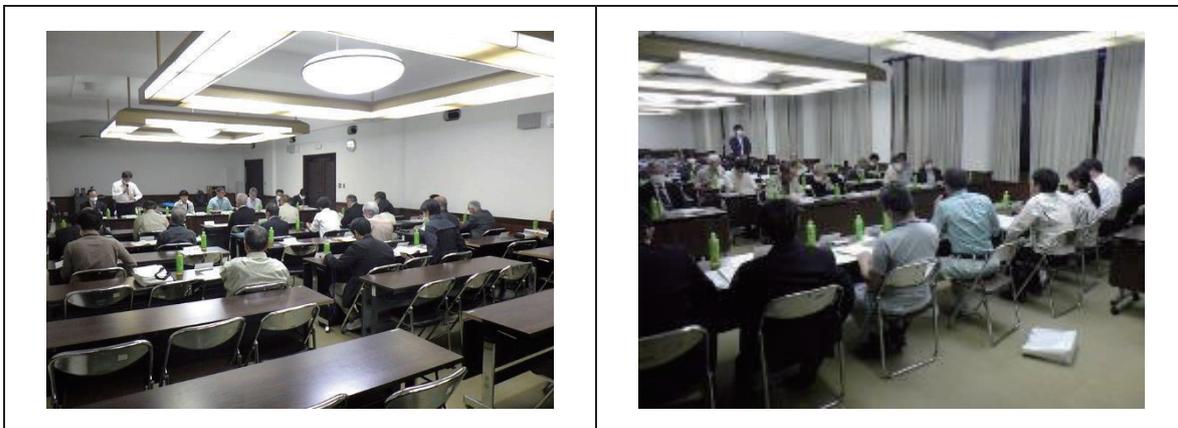
- ①議事概要（内訳：第 15 回総会、第 13 回合同部会）
- ②令和 4 年度取り組み報告
- ③令和 4 年度決算報告（案）
- ④令和 5 年度予算補正（案）
- ⑤麻機遊水地生きもの図鑑について
- ⑥麻機遊水地保全活用行動計画 第 3 期計画について
- ⑦監事の選任について
- ⑧環境省自然共生サイトへの登録について
- ⑨麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金  
交付要綱の一部改正について

(3) その他

- ①第 8 回遊水地フェスタ実施報告
- ②麻機遊水地の堤防舗装と伐採について

(4) 閉会

4. 開催写真



## 5. 参加者

### (1) 協議会員

NO	団体/個人	団体名	参加者名
1	団体	麻機遊水地保全活用推進協議会 会長 東海大学名誉教授	田中 博通
2		専門委員 静岡昆虫同好会	杉本 武
3		専門委員 日本野鳥の会静岡支部 副支部長	伴野 正志
4		専門委員 静岡植物研究会 会長	湯浅 保雄
5		麻機湿原を保全する会	後藤 昌徳
6		麻機ウェットランドクラブ・麻機村塾	石上 恭平
7		麻機ウェットランドクラブ	村田 洋子
8		(株) 自然回復・静岡カメの会	三根 佳奈子
9		協同組合静岡流通センター	上川 雄司
10		協同組合静岡流通センター	伊藤 哲
11		協同組合静岡流通センター・麻機遊水地柴揚げ漁保存会	濁澤 直也
12		千代田東学区実地会連合会 会長	斎藤 健次
13		麻機学区自治会連合会 会長	杉浦 徹
14		あさはた緑地公園愛護会	剣持 邦昭
15		東部生涯学習センター	杉井 円
16		ベータテル麻機部会	竹下 博実
17		ベータテル麻機部会安東川ネットワーク	杉山 明
18		静岡市議会議員	福地 健
19		静岡県立こども病院 事務部	小澤 謙一
20		あさはた緑地公園センターハウス	木下 聡

### (2) 事務局

NO	所属		参加者名
1	静岡県	交通基盤部静岡土木事務所企画検査課	杉本 直弥
2		交通基盤部静岡土木事務所河川改良課	岡村 修幾
3			西村 昌史
4			柴田 直紀
5	静岡市 都市局都市計画部緑地政策課		塩澤 友宏
6		吉川 晴英	
7		堀井 由紀	
8		中島 裕也	

## 6. 議事概要

### 6-1. 報告事項についての意見・質問

#### ①麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金 交付要綱の一部改正について

- ・活動補助金交付要綱の一部改正は、いつから適用されるか。  
⇒総会で承認され次第適用する（11月17日の第16回総会を予定）。新しい様式はHPの更新や資料郵送で利用できるようにする。それ以前の書類については従来の書式で構わない。
- ・資料内の『補助金交付事業者参加者名簿も同様に押印を廃止し、署名又はワープロによる記名を可とします』および『補助金交付事業参加者名簿については当該日の団体構成員の事業参加状況を確認する必要上、ワープロによる記名は不可とする』とは、どういった意味か。当日に空欄の名簿を持っていき、参加者に住所氏名を記入してもらうという理解でよいか。  
⇒各活動の参加者についてワープロでの記入のみだと偽装ができてしまう。実際に参加したことが証明できる方法(押印や記名)で対応いただければよいと考えている。

#### ②麻機遊水地生きもの図鑑について

- ・資料に載っている生きもの図鑑の表紙ではクサガメが採用されているが、クサガメは外来生物で在来のニホンイシガメとの交配など、近年問題が明らかになっている。他分類で採用されているミズアオイやカヤネズミに合わせ、在来の希少種であるニホンイシガメにしてはどうか。
- ・クサガメで通す場合は、囲いの縁をギザギザにするなど、デザインの工夫で他と区別してもよいのではないか。  
⇒資料に掲載した表紙はまだ確定のものではない。いただいた意見を参考に図鑑編集委員の先生と相談して決めたいと思う。
- ・生きもの図鑑の表紙に採用されているカヤネズミの写真に違和感があるが、本物か。  
⇒写真で本物である。違和感の正体は、おそらくカヤネズミがあまり利用しないセイタカアワダチソウに乗っている（本来はイネ科植物を利用していることが多い）点だと思うが、カヤネズミは人前にめったに姿を見せない動物で、この写真しか用意ができなかった事情がある。ご理解を願いたい。
- ・図鑑の印刷までのスケジュールについて、日本野鳥の会で1月に麻機遊水地での合同探鳥会を企画している。それまでに間に合いそうか。間に合わなければ仕方ない。  
⇒確約はできないが、ご協力できるよう努めたいと思う。
- ・提供写真の著作権に留意していただきたい。写真は今回の図鑑のために提供したものでその他シーンでの使用権は渡していない認識である。使用する場合は、写真提供者に連絡して許可をもらうようにしていただきたい。  
⇒図鑑に無断転載を禁ずる文面を入れる予定である。また、その他行政文書等での無断使用も生じないようにする。

## 6-2. その他の意見・質問

### ①麻機遊水地フェスタ実施報告について

- ・30～50代の来場者が多いことはとてもうれしい。10代以下の割合も多いので子どもがいなければ来なかったかもしれないが、それでも「また来たい」という意見が多いので結果的によかったと思う。
- ・エンジンボートおよびカヌーを出す際、苦情を言う方が表れてエンジンボートを中止、カヌーを範囲縮小することになった。池のハクチョウのために大きな音を出すなという内容だった。しかし、重度障がい者の方などが遊水地の池の中を体験するにはエンジンボートがないと難しい。なんとか解決したい。  
⇒事務局としても、どちらかしか実現できないことはあまりよくないと思う。また相談させていただきながら実施していきたい。
- ・静岡県カヌー協会から、もし来年度の遊水地フェスタでカヌーを出すのであれば一緒にやらせてもらえないかと連絡があったが可能か。  
⇒これまでの出展者がいるので事務局としてはこの場では回答できないが、両方で話をできるよう調整するなど、できることがあればご協力したい。

### ②第4工区の整備について(麻機湿原を保全する会后藤さん提供の資料を参照)

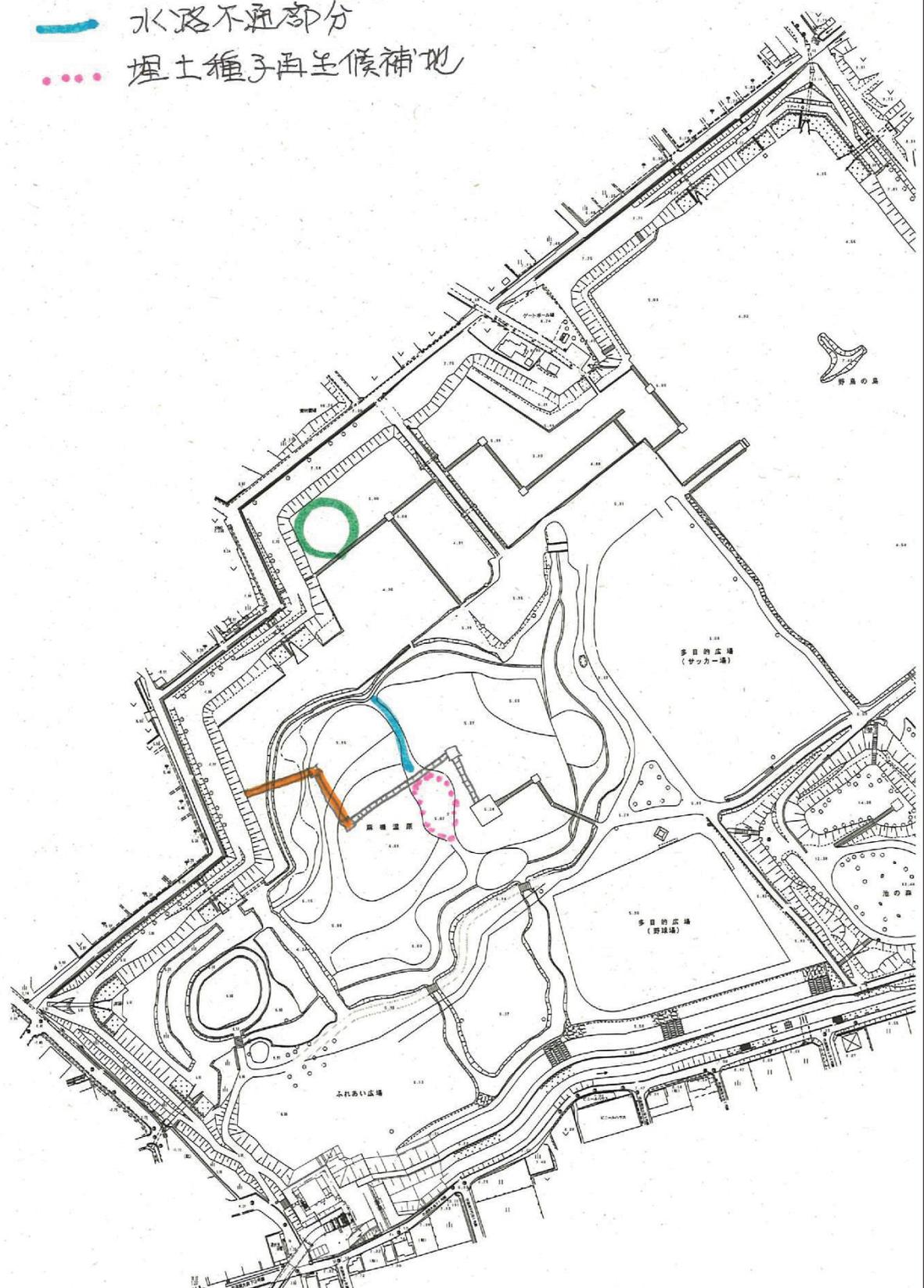
- ・特定外来生物のオオフサモが繁茂しており、拡散を危惧している。対処してもらえないか。  
⇒一度事務局や関係団体、個人で手作業による駆除を行って今後の方策を考えたい。今年度、特定外来生物のナガエツルノゲイトウの駆除を同様の体制で行い、ナガエツルノゲイトウの特性を把握した。その経験を基に近いうちに駆除業務を発注するつもりでいる。同じように、オオフサモの特性を事務局で把握してより有効な対策を取っていきたいと考えている。その際には会員の皆様にご相談、ご協力をいただきたい。
- ・湿地の木道の整備について、かなり前から止まっているため早急に進めてもらいたい。保全活動のしやすさや利用者の安全を考慮すると手すりを付けた整備が良いと思うので、その方向で検討してもらいたい。  
⇒県と市との間で、設置とその後の管理について対応が定まっていない。状況を整理して進めていきたいと思うが、時間がかかると思われる。
- ・陸域化した水路を復活してもらいたい。この水路が陸域化してから、サクラタデ群落の土壌の乾燥化が進行しているように感じる。保全上、意味のある水路であると思う。  
⇒静岡土木事務所に対応していきたいと考えている。また施工方法や場所について相談させていただきたい。
- ・陸域化した水路付近にある希少種が多く出現した場所を攪乱したいため、協議会で協力してもらえないか。種子の寿命等を考えると、そろそろ攪乱をしないと希少種の復活ができないのではと危惧している。  
⇒重機が入れば、掘削等のお手伝いはできる。また会員への声掛けなどできると思う。
  - ・重機が入るのは難しいかもしれない。⇒現場を見て考える必要がある。また相談させていただきたい。

②特定外来生物の駆除について

- 第3工区のナガエツルノゲイトウの状況を確認した。とても危険な状況だと思う。駆除作業などあればぜひ協力させていただきたい。  
⇒手伝っていただけることは大変ありがたい。駆除作業を行う際には連絡させていただく。

2023/11/02 第14回合同部会  
 麻機湿原を保全する会 後藤昌徳さんより  
 「第4工区に関する課題・提案」

-  オオノサモ
-  木道未完成部分
-  水路不通部分
-  埋土種子再生候補地



## 第16回総会 議事概要

### 1. 開催日

令和5年11月17日（金） 19:00～20:30

### 2. 場所

静岡もくせい会館1階 富士ホール

### 3. 議事次第

#### (1) 開会

#### (2) 報告事項

報告1 第13回合同部会、第15回総会、第14回合同部会議事概要

報告2 令和4年度取り組み報告

報告3 麻機遊水地保全活用行動計画 第3期実施計画について

#### (3) 議事事項

議事1 令和4年度決算報告（案）

議事2 監事の選任について

議事3 令和5年度予算補正（案）

議事4 麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金交付要綱の一部改正について

議事5 環境省自然共生サイトへの認定とマッチングの試行への申請について

議事6 麻機遊水地生きもの図鑑について

#### (4) その他

①第8回遊水地フェスタ実施報告

②麻機遊水地の堤防舗装と伐採について

#### (5) 閉会

### 4. 開催写真



## 5. 参加者

### ■総会委員、顧問(22/25名)

No	区分	所属	氏名	出欠	
1	会長	東海大学名誉教授	田中 博通	○	
2	学識経験者	静岡植物研究会会長	湯浅 保雄	○	
3		日本野鳥の会静岡支部 副支部長	伴野 正志	○	
4		静岡大学教育学部准教授	加藤 英明	欠	
5		NPO 静岡県自然史博ネット	杉本 武	○	
6		国立環境研究気候変動適応センター 副センター長	西廣 淳	○	
7		東海大学海洋科学博物館・自然史博物館 学芸員	太田 勇太	欠	
8		地域代表	竜南学区自治会連合会 会長	角 隆弘	欠
9	千代田学区自治会連合会 会長		齋藤 健次	○	
10	麻機学区自治会連合会 会長		杉浦 徹	○	
11	流通センター地区代表		伊藤 哲	○	
12	各部部长・ 副部部长	自然再生部会 麻機湿原を保全する会 会長	後藤 昌徳	○	
13		地域活性化部会	麻機ウェットランドクラブ・麻機村塾	石上 恭平	○
14			協同組合静岡流通センター	上川 雄司	○
15		ベーター麻機部会	あさはた緑地公園愛護会	剣持 邦昭	○
16			ベーター麻機部会長	竹下 博実	○
17			ベーター麻機副部長	高橋 邦男	○
18	行政	静岡県	河川海岸整備課長	杉山 一仁	○
19			静岡土木事務所長	戸栗 一泰	○
20			健康福祉部政策管理局 企画政策課長	村松 聡	○
21			静岡市	環境局環境共生課長	石塚 浩史
22		保健福祉長寿局健康福祉部 障害福祉企画課 課長補佐		宮原 和寿	○
23		都市局都市計画部 公園整備課長		杉山 晋	○
24		建設局土木部河川課 課長補佐		長井 隆	○
25		顧問	静岡市副市長	本田 武志	○

### ■事務局(9名)

No	所属	氏名	
1	静岡県静岡土木事務所	岡本 修幾	
2		河川改良課	西村 昌史
3		柴田 直紀	
4	企画検査課	野中 千栄子	
5	静岡市都市局都市計画部	—	杉村 則久
6		緑地政策課	塩澤 友宏
7			吉川 晴英
8			堀井 由紀
9			中島 裕也

### ■行政(2名)

No	所属	氏名
1	静岡市 環境局 環境共生課	宮川 聡美
2	静岡県 交通基盤部河川砂防局 河川海岸整備課	梶原 大督

■傍聴(9名)

No	区分	所属	氏名
1	団体	麻機ウェットランドクラブ	村田 洋子
2			藤浪 千枝
3		(株)自然回復・静岡カメの会	三根 佳奈子
4		あさはた緑地公園センターハウス	木下 聡
5		環境アセスメントセンター	馬場 美也子
6			鈴木 千代
7			品川 修二
8	団体	静岡流通センター・麻機遊水地柴揚げ漁保存会	濁沢 直也
9		東部生涯学習センター	杉井 円

## 6. 議事概要

### (1) 議事事項

○議事1：令和4年度決算報告（案）

事務局より令和4年度決算報告、監事である静岡県河川海岸整備課長杉山委員より監査報告が行われ、挙手多数により承認された。

○議事2：規約に基づく監事の選任について

事務局より、千代田学区自治会連合会会長斎藤委員、静岡土木事務所長戸栗委員を監事に推薦し、挙手多数により承認された。

○議事3：令和5年度予算補正（案）

補助金制度の運用に伴い補正予算（案）を提示し、挙手多数により承認された。

○議事4：麻機遊水地保全活用推進協議会規約及び麻機遊水地保全活用推進活動費補助金交付要綱の一部改正について

事務局より、静岡市環境局環境創造課長、静岡県健康福祉部政策監について機構改正による組織名の変更に伴った「麻機遊水地保全活用推進協議会規約」の改正、静岡市で押印規定の見直し指針を策定したことから、書類の押印廃止による補助金交付要綱の一部改正を提示し、挙手多数により承認された。

○議事5：環境省自然共生サイトへの認定とマッチングの試行への申請について

事務局より、自然共生サイトへの認定報告と、マッチング試行実験への参加申請を行う説明を行い、挙手多数により承認された。

○議事6：麻機遊水地生きもの図鑑について

事務局より、麻機遊水地生きもの図鑑に関する今後のスケジュール及び、図鑑の位置づけ、価格設定の提示があり、挙手多数により承認された。

### (2) その他報告事項

○第8回遊水地フェスタ実施報告

事務局より、遊水地フェスタの収支報告、アンケート結果報告がされた。

○麻機遊水地の堤防舗装と伐採について

事務局より、昨年度と今年度の実施報告、今後の予定の提示がされた。

### (3) 意見・質問

#### <議事4に関する意見・質問>

- ・押印廃止後、確認欄には何を書いたら良いのか。  
⇒ 当日参加していただいた方の名前やサイン等を書いてもらい、参加したという確認がとれればよい。(押印でも良い)

#### <議事5に関する意見・質問>

- ・マッチング試行への申請は、どのような内容で申請すればよいのかわかっているのか。  
⇒ 麻機遊水地の魅力や、支援してほしいこと等を書く。

#### <議事6に関する意見・質問>

- ・協賛額と記載があるが、図鑑には定価というように明示されるのか。  
観察会等参加していただいた方に渡すときは、寄付というのか、協賛金というのか、もしくは無償で配っても良いのか。  
⇒ 図鑑に金額を記載する予定はない。販売をすると利益に対する税金等かかってくるため、協賛金という形で進めていこうと考えている。
- ・いつ頃完成予定なのか  
⇒ 今年度中の印刷発行を目指している。
- ・図鑑の中に少し大きめの地図を入れてほしい。  
⇒ 各工区それぞれの地図がつく予定なので、そこで確認してもらいたい。

#### <第8回遊水地フェスタ実施報告に関する意見・質問>

- ・遊水地フェスタの支出の中に弁当代とあるが、飲食費は予算の中で出してはいけないと言われていたのだが、これは問題ではないのか。  
⇒ 企業からの協賛金と、カヌー体験で少しお金をいただいていた中から出しているもので、協議会の予算から出しているものではない。
- ・遊水地フェスタが終わった数日後にゴルフの打ちっぱなしをしている人がいた。非常に危ないので、何か管理できるようにしてもらいたい。

## 令和5年度歳入歳出決算見込み(R6.2.20時点)

## (歳入の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和5年度 予算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較 (A-B)	備考
負担金	14,000,000	14,000,000	0	
静岡県	7,000,000	7,000,000	0	
静岡市	7,000,000	7,000,000	0	
繰越金	3,251,988	3,251,988	0	
雑収入	100	47	△ 53	預金利息
補助金返戻金	0		0	活動補助金未執行分(未確定)
合計	17,252,088	17,252,035	-53	

## (歳出の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和5年度 予算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較 (A-B)	備考
協議会活動経費	2,751,000	2,610,175	140,825	調査、資材、備品購入にかかる経費
謝金	1,399,000	1,346,500	52,500	専門委員等調査謝金、 図鑑作成執筆謝金
使用料及び 賃借料	40,000	33,050	6,950	合同部会・総会会場使用料
役務費	62,000	42,826	19,174	タブレット契約料
需用費	800,000	739,413	60,587	生き物図鑑印刷製本費
備品購入費	450,000	448,386	1,614	草刈り用具設置倉庫費
補助金交付費	1,484,000	1,484,000	0	所属9団体に対する活動補助金
報酬費	440,000	425,500	14,500	協議会委員への報償費
委託費	12,363,000	12,362,700	300	1 事務局運営補助委託経費 2 植生調査委託費 3 受付業務補助委託費 4 麻機遊水地フェスタ会場設置 委託費 5 麻機遊水地外来種駆除業務
事務局運営経費	200,000	165,370	34,630	振込手数料、サーバーレンタル料
予備費	14,088	13,300	788	
合計	17,252,088	17,061,045	191,043	

※必要に応じて科目間の流用を認める

歳入合計	17,252,035
歳出合計	17,061,045
残額	190,990



## 令和6年度歳入歳出予算(案)

## (歳入の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 予算額(B)	比較 (A-B)	備考
負担金	14,000,000	14,000,000	0	
静岡県	7,000,000	7,000,000	0	
静岡市	7,000,000	7,000,000	0	
雑収入	100	100	0	(預金利息)
繰越金	190,990	3,251,988	△ 3,060,998	令和5年度未執行額及び 団体活動補助金戻入金
合計	14,191,090	17,252,088	△ 3,060,998	

## (歳出の部)

(単位:円、△印は減)

科目	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 予算額(B)	比較 (A-B)	備考
協議会活動経費	594,000	2,751,000	△ 2,157,000	調査、資材にかかる経費
謝金	219,000	1,399,000	△ 1,180,000	専門委員調査費用等
使用料及び 賃借料	87,000	40,000	47,000	会議室使用料(もくせい会館 を想定)
役務費	40,000	62,000	△ 22,000	通信費
需用費	248,000	800,000	△ 552,000	消耗品
備品購入費	0	450,000	△ 450,000	
補助金交付費	1,308,000	1,484,000	△ 176,000	1団体上限20万円
報酬費	529,000	440,000	89,000	協議会委員への報酬費
委託費	11,560,000	12,363,000	△ 803,000	事務局運営補助委託経費 (パンフ作成費、データ整理費含む) 植生調査委託費 協議会受付補助委託費 麻機遊水地フェスタ会場設営
運営経費	200,000	200,000	0	振込手数料、サーバーレンタル料
予備費	90	14,088	△ 13,998	
合計	14,191,090	17,252,088	△ 3,060,998	

※必要に応じて科目間の流用を認める



## 令和 5 年度取組み報告 及び 令和 6 年度取組み計画 (案)

## 1. 取組み報告・計画一覧

(黒字：令和 5 年度から継続、赤字：令和 6 年度新規、青字：令和 6 年度予定なし)

## (1) 自然再生部会

	団体	実施内容	工区
1	麻機湿原を保全する会	・保全活動(草刈・パトロール等) ・自然観察会 ・サクラタデ観察会、野点 ・総会	第 4 工区
2	麻機ウェットランドクラブ	・保全活動(草刈・湿地攪乱等) ・おさんぽ観察会 ・オニバス観察会 ・ミズアオイ観察会 ・カヤネズミ観察会 ・啓蒙活動(遊水地フェスタ・近隣学校との連携)	第 1、3 工区
3	東海大学水棲環境研究会	・定点調査(魚類) ・柴揚げ漁への協力	第 3、4 工区

## (2) 地域活性化部会

	団体	実施内容	工区
1	麻機遊水地柴揚げ漁保存会	・柴揚げ漁実施会場の整備 ・柴揚げ漁実演(R5 は雨天中止)	第 3 工区
2	麻機学区自治会連合会	・水田、ハス田、畑の維持管理 ・グランドゴルフ大会 ・どんど焼き ・河津桜の維持管理 ・遊水桜まつり	第 1 工区
3	あさはた緑地公園愛護会	・あさはた緑地草刈り、ひまわりロード手入れ ・ヒメガマ除去作業、桶橋川右岸草刈り ・河津桜の維持管理	第 1 工区
4	麻機村塾	・古民具の手入れ、来場者への説明 ・農機具の活用体験(脱穀機他) ・麻機の歴史散歩	第 1 工区
5	麻機緑地保全活用推進協議会	・体験農園の活用体験(もち米田、レンコン田) ・あさはた緑地草刈り、ひまわりロードの手入れ ・河津桜の維持管理 ・どんど焼き ・あさはたふれあい夏祭り	第 1 工区

(3) ベーテル麻機

部会

	団体	実施内容	工区
1	ベーテル麻機部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉農園、水田を活用した福祉医療施設との連携</li> <li>・福祉農園、水田の維持管理</li> <li>・福祉農園から四角池にかけての通路の維持管理</li> </ul>	第3工区
2	地域の庭を作る会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防部の除草、花壇整備</li> </ul>	第3工区

(4) 事務局

	項目(行動計画)	実施内容	工区
1	清掃活動の実施・美化活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーン作戦</li> </ul>	第1,2,3,4 工区
2	自然博物館、生き物・パネル展示、出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントや施設でのパネル展示</li> </ul>	-
3	広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ維持管理、会報発行</li> <li>・パンフレットの印刷・配布・<b>情報更新</b></li> <li>・自然シリーズパンフレット <ul style="list-style-type: none"> <li>- 企画検討</li> <li>- 印刷・配布</li> </ul> </li> <li>・遊水地フェスタ</li> </ul>	-
4	保全活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来生物駆除(ナガエツルノゲイトウ・<b>オオフサモ</b>)</li> <li>・火入れ</li> <li>・植生調査</li> <li>・<b>土壌攪乱(3工区)</b></li> </ul>	第3,4工区
5	民間支援者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然共生サイトへの登録、支援者マッチング協力</li> <li>・地元企業との連携の検討</li> </ul>	-
6	調査データの整理・公表検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の生物調査データの整理、公表検討</li> </ul>	-

1-2. 令和5年度(2023年度)取組み写真

①麻機湿原を保全する会



サクラタデ観察会



ヒメガマを使った水屋



魚類の展示

②麻機ウエットランドクラブ



湿地の攪乱作業



草花あそび体験



ミズアオイの保全(種採り)



秋の植物観察会



草花クラフトWSの開催



カヤネズミ観察会

③麻機遊水地柴揚げ漁保存会



準備(柴入れ)



会場準備

柴揚げ漁は  
当日雨天のため中止

⑦麻機学区自治会連合会



どんど焼き



ひまわりロード整備

⑤麻機村塾



農機具の手入れ



古民具の説明



昔の遊び体験会

⑥ベータール麻機部会



田植え



水田



稲刈作業



農園作業



農園収穫



絶滅危惧種（ウスゲチョウジタデ）

⑧地域の庭を作る会



堤防花壇の整備



堤防樹木の剪定



堤防の除草

⑨事務局



治水事業の説明



火入れ実験



クリーン作戦



外来生物の駆除

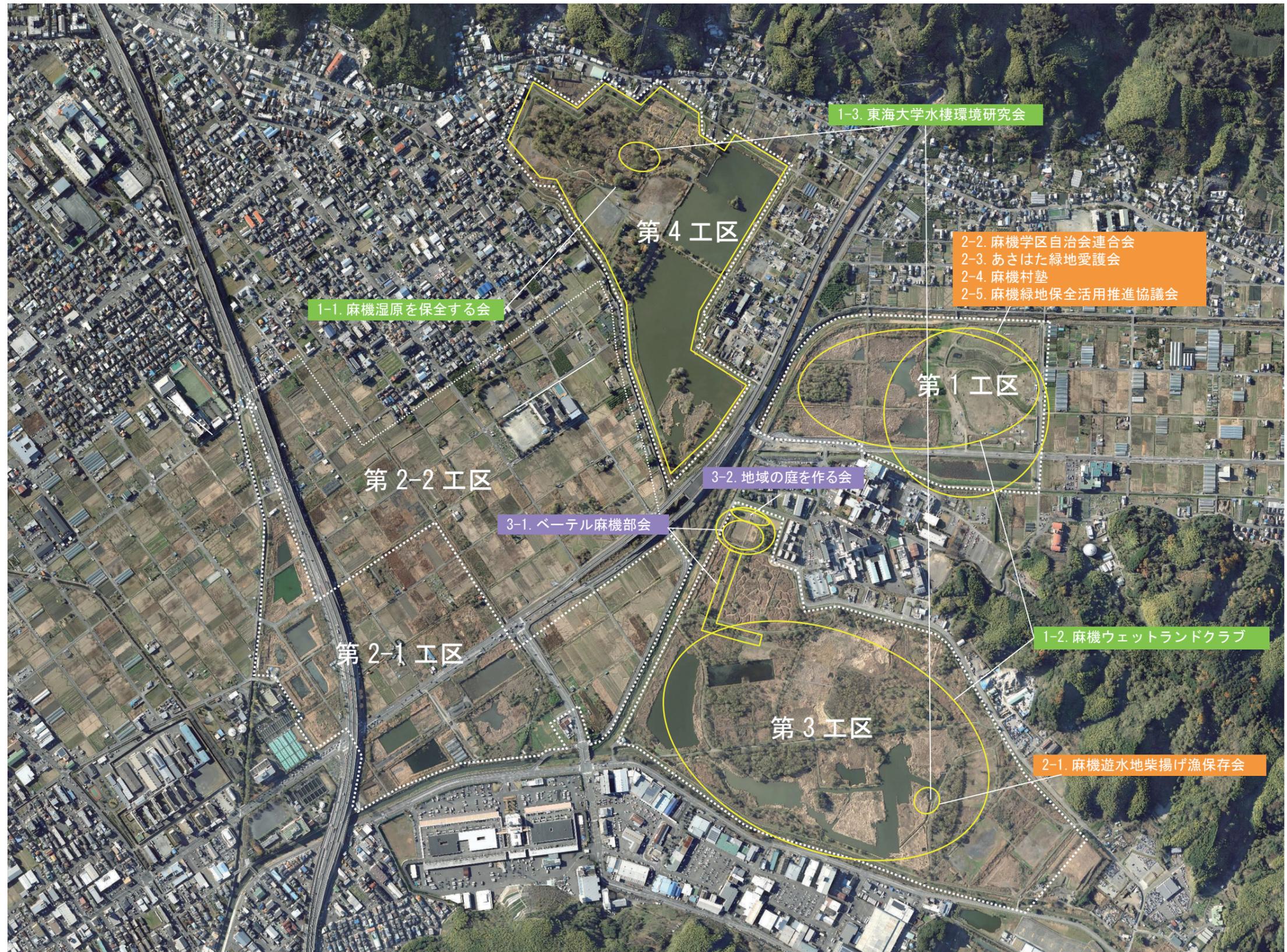


土壌攪乱



自然共生サイトへの認定







## 民間企業・団体との連携について

協議会事務局では、麻機遊水地の自然再生・利活用の更なる活性化に向けて、民間企業および団体との連携を模索しており、本事項はその進捗報告となります。

現在、取り組んでいる試みは以下の通りです。

### 1. 環境省による「自然共生サイトと支援者のマッチング（試行）」への申請結果

環境省による「自然共生サイトと支援希望者とのマッチング」事業（2023年度は試行）に申請した結果、(株)エコプラン研究所、(株)建設環境研究所の2社とマッチングが成立しました。昨年末両者と打合せを行った結果、(株)建設環境研究所より維持管理やモニタリングに係る技術的な助言やアドバイスをいただける旨の回答があり、今後も継続して双方にプラスになる連携を目指し協議を進めていきます。

**用語解説：自然共生サイトとは**

- ・「民間等の取組により結果的に生物多様性の保全に貢献している区域」と定義されています。
- ・結果的に生物多様性保全に貢献していれば、取り組みの主目的が生物多様性保全であるかそうでないかは問いません。
- ・COP15(2022年12月)で国際目標になった 30 by 30 (2030年までに陸地と海域の30%を自然保全の場にする目標) の達成につながります。
- ・「自然共生サイト」へ支援をすることで 企業価値の向上やその他経済的利益につながる仕組みづくりを環境省が検討中（例：支援者マッチング事業（試行））。

The diagram shows a timeline from 2022 to 2030. In 2022, a bar chart shows '陸域: 20.5%' and '海域: 13.3%'. In 2030, a bar chart shows '陸域: 30%' and '海域: 30%'. A star marks 2023 as '試行認定スタート' and 2030 as '正式認定スタート'. To the right is the '30 by 30' logo with a circular illustration of a landscape and community.

### 2. 静岡県内・市内の民間企業との連携・支援体制の構築

静岡県本庁等と協力し、県内および市内の民間企業・団体から、連携・支援希望者を募ることを検討しています。支援証明書の発行など支援者にもプラスとなるような制度の実現に向けて、検討および協議を進めています。



## 麻機遊水地保全活用行動計画 第 3 期実施計画について

## (1) 第 2 期実施計画 総評

まとめ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス禍の影響で活動を十分にできなかった期間もあったが、現在は各取組みの再開が見られ、多くの項目の実施継続が実現されていた。</li> <li>・ あさはた緑地公園の供用開始により、あさはた緑地公園を中心とした取組みの実施や連携が見られるようになった。</li> </ul>

第 2 期実施計画は 2019 年度～2023 年度の 5 年間に適用された。うち 2020 年度～2022 年度は新型コロナウイルス禍の影響によって観察会などの人を集めるイベントや複数主体の連携事業などで中断、規模縮小が見られた。

その一方で、保全活動や維持管理活動など、少人数や密を回避できる項目は中断することなく実施され、新型コロナウイルス禍の影響が弱まった 2022 年後半から 2023 年にかけて、自粛していた各取組みの再開が見られるようになった。その結果、行動計画の実施事項の多くが実施継続されている。

また、2021 年度から供用開始されたあさはた緑地公園が拠点となり、新たな取組みの実施や指定管理者を交えた取組み連携、情報共有のきっかけとなっている。

## (2) 第 3 期実施計画における変更内容

基本的な考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 期実施計画のうち、現時点で実施されている項目は継続的な実施を目指す。</li> <li>・ 実施されていない項目は、実施できるように方法や体制の検討を行う（既に実施困難となったものは中止する）。</li> <li>・ 第 2 期実施計画期間で新たに始まった取組みは、項目に新規追加し継続を目指す。</li> <li>・ 社会情勢や遊水地の環境の変化によって必要となった取組みは、項目に新規追加する。</li> </ul>

変更内容一覧 (1/2)	
項目	備考
新規	データ公開 データの公開によって、各取組みへの活用や新規参加者への説明に利用できるようにする
新規	特定外来生物駆除 植生調査によって治水や環境などに大きな悪影響を与えるナガエツルノゲイトウ等の分布が拡大していることが明らかになった。 遊水地の機能や生態系を保全するため根絶ないし低密度管理を目指す。

変更内容一覧(2/2)		
項目	備考	
	サイン計画	ルール作成後、関係機関との調整で 2020 年度より計画が止まっている。 サイン設置実現に向けた調整の他、別のルール周知の方法の検討を行う。
	自然共生サイト制度の活用	2023 年に認定を受けた自然共生サイトの制度の活用を進める。
	民間企業との連携	民間企業との連携により、人手不足、資金不足、発信力不足の解消に努める。
	古民具の解説・体験	あさはた緑地公園の「あさはた納屋」の整備により、古民具や農具、歴史資料を常設できるようになった。 「あさはた納屋」を拠点とし、地元の歴史の紹介や道具の解説や体験を実施する。
	堆積土砂の除去	航空写真によるモニタリングから、堆積土砂による開放水面の減少が確認された。 モニタリング結果を参考に堆積土砂の除去を実施し、開放水面の確保を目指す。
検討	医療福祉向け観察会	第 2 期実施計画期間で実施されていない。 新型コロナウイルス禍が落ち着いたことを踏まえ、医療福祉施設との連携を改めて模索する必要がある。
	簡易水質調査	第 1 期実施計画から実施されていない。 実現には実施体制の構築が必要である。
	水質調査・分析	第 1 期実施計画から実施されていない。 実現には実施体制の構築が必要である。
	湿地攪乱 2 (第 3 工区)	人手不足。担い手の加入、育成方法について検討が必要である。
	オニバスの保全 (第 3 工区)	知見および人手不足。オニバスの保全手法、および担い手の加入、育成方法について検討が必要である。
	ヨシの活用	2017 年度の座談会以降実施なし。 カヤ利用者との連携が必要である。
中止	ソバの栽培	2018 年度から実施なし。 実施者の不在。
	ソバ打ち	2018 年度から実施なし。 実施者の不在。
	夜の昆虫観察会	2022 年を持って終了。実施者の引退。

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画 その他できごと	第1期実施計画		第2期実施計画					第3期実施計画			備考		
	2017年度	2018年度	2019年度	新型コロナウイルス禍			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度			
行動計画実施項目	【色凡例】 新規 検討 継続 中止												
生物・植物調査(野鳥・昆虫類・哺乳類・植物)				現況調査(データの蓄積)					現況調査(データの蓄積)			継続 調査 新 データ公開	
外来植物の駆除	外来種調査				外来種調査					外来種調査		継続 外来種調査 新 特定外来植物駆除	
ミシシippアカミミガメ、外来魚の駆除	カメ類捕獲		カメ類捕獲		カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	カメ類捕獲	継続 カメ類捕獲	
自然観察園、自然観察コースの整備、管理(パンフレット等)	パンフレット企画検討	パンフレット印刷・配布								パンフレット印刷・配布		継続 パンフレット印刷・配布	
			生きもの図鑑企画検討		生きもの図鑑作成					生きもの図鑑印刷・配布		継続 生きもの図鑑印刷・配布	
自然博物館、生きもの・パネル展示、出前講座			各種イベントや各施設にて実施						各種イベントや各施設にて実施			継続 パネル展示・出前講座	
利用に関するルールづくりとその周知		ルール作成	ルール						サイン計画・設置			継続 サイン計画	
清掃活動	クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦		クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦	クリーン作戦	継続 クリーン作戦	
たい肥づくり				たい肥づくり					たい肥づくり			継続 たい肥づくり	
6次産業化									6次産業製品の開発			検討 6次産業化	
竹灯籠づくり、展示	イベントでの展示	イベントでの展示	イベントでの展示					イベントでの展示	イベントでの展示	イベントでの展示		継続 竹灯籠づくり・展示	
関係機関との連携				各取組みの中で実施						各取組みの中で実施			継続 関係機関との連携 新 自然共生サイト制度の活用 新 民間企業との連携
								自然共生サイト 試行参加・正式認定	自然共生サイト マッチング試行				
								民間企業との 連携の模索		民間企業との 連携			
広報活動			ホームページ維持管理・会報作成						ホームページ維持管理・会報作成			継続 ホームページ・会報	

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画 その他できごと	第1期実施計画			第2期実施計画				第3期実施計画			備考			
	2017年度	2018年度	2019年度	新型コロナウイルス禍				2024年度	2025年度	2026年度				
行動計画実施項目	【色凡例】 新規 検討 継続 中止													
オニバスの保全				保全活動				保全活動			続 オニバスの保全			
ハスの保全	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	草刈り・ヒメガマ抜取	続 ハスの保全		
自然観察会と今後を担う人材の育成	オニバス観察会 生きもの観察会	生きもの観察会	生きもの観察会	生きもの観察会	オニバス観察会 秋の植物観察会	オニバス観察会 秋の生きもの観察会	オニバス観察会 秋の草花観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	オニバス観察会 生きもの観察会	続 観察会の実施		
医療福祉向け観察会								医療福祉向け観察会			検 医療福祉向け観察会			
埋土種子実験と埋土種子の里帰り								埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験	続 埋土種子実験	
水田の維持管理・利用				水田・ハス田の維持管理				水田・ハス田の維持管理・活用			続 水田の維持管理・活用			
風俗・風習の継承	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	どんど焼き	続 どんど焼き 新 古民具の解説・体験		
清掃活動								除草作業見回り	除草作業見回り				続 除草・見回り	
周囲堤の美化活動								花壇作業	花壇作業				続 花壇整備	
各種イベント				河津桜の維持管理		河津桜の維持管理		河津桜の維持管理		河津桜の維持管理		河津桜の維持管理		続 河津桜の維持管理
				遊水桜まつり		遊水桜まつり		遊水桜まつり		遊水桜まつり		遊水桜まつり		続 遊水桜まつり
各種イベント						ハス七夕まつり		ハス七夕まつり		ハス七夕まつり		ハス七夕まつり		続 ハス七夕まつり
								表土移植域外保全		表土移植域外保全		表土移植域外保全		続 表土保全

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画 その他できごと	第1期実施計画		第2期実施計画					第3期実施計画			備考
	2017年度	2018年度	2019年度	新型コロナウイルス禍			2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
行動計画実施項目	【色凡例】 新規 検討 継続 中止										
水位調査と適正な開放水面の確保				水位観測（静岡県SIPOSレーダー）				水位観測（静岡県SIPOSレーダー）			続 水位観測
			航空写真によるモニタリング				航空写真によるモニタリング			続 航空写真によるモニタリング	
						堆積土砂の除去			堆積土砂の除去		新 堆積土砂の除去
水質調査								簡易調査	簡易調査	簡易調査	検 簡易水質調査 検 水質調査・分析
水質改善実験小池の外来魚駆除実験	池の水抜き	池の水抜き									検 池の水抜き
湿地の攪乱 1	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	耕耘・除草	続 湿地攪乱 (土壌攪乱)
湿地の攪乱 2									湿地の攪乱		検 湿地攪乱 (草刈り等)
火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験		火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	火入れ実験	続 火入れ実験
埋土種子実験と埋土種子の里帰り	埋土種子実験	埋土種子実験	埋土種子実験								続 埋土種子実験（第1工区へ）
オニバスの保全									保全手法の検討		検 オニバスの保全
									保全活動		
自然観察会と今後を担う人材の育成	ミズアオイ観察会	ミズアオイ観察会 オニバス観察会	ミズアオイ観察会 オニバス観察会	ミズアオイ観察会 オニバス観察会					観察会の実施		続 観察会の実施
医療福祉向け観察会		おさんぽ観察会							散策観察会の実施		検 医療福祉向け観察会
水田の維持管理・利用				水田の維持管理 福祉・地域連携での活用				水田の維持管理 福祉・地域連携での活用			続 水田の維持管理・活用 (ペーテル農園)

■麻機遊水地保全活用行動計画 スケジュール表（第3期実施計画）

実施計画 その他できごと	第1期実施計画			第2期実施計画				第3期実施計画				備考	
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度			
行動計画実施項目	【色凡例】 新規 検討 継続 中止												
第3工区	風俗・風習の継承	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	柴揚げ漁 準備・実演	続 柴揚げ漁	
	周囲堤の美化活動	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	除草 花壇整備	続 周囲堤の美化活動 止 ソバの栽培	
	ヨシの活用	座談会							カヤ利用者との連携強化	カヤ利用者との連携強化	カヤ利用者との連携強化	続 ヨシの活用	
	各種イベント	フェスタ ソバ打会	フェスタ ソバ打会	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	フェスタ	続 遊水地フェスタ 止 ソバ打ち
第4工区	湿地の攪乱2	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	続 湿地攪乱 (草刈り等)	
	オニバスの保全	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	除草 維持管理	続 オニバスの保全	
	自然観察会と今後を担う人材の育成	夜の昆虫	夜の昆虫	夜の昆虫	夜の昆虫	夜の昆虫	夜の昆虫						止 夜の昆虫観察会
		サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	サクラタデ	続 サクラタデ観察会
別途事業	雑木の間引き				樹木の間引き					樹木の間引き		続 樹木の間引き	
	施設の改修						トイレの整備		企画検討	企画検討		続 施設の改修	
	自然観察園、自然観察コースの整備、管理						堤防天端の 舗装整備		企画検討	企画検討		続 自然観察園、コース整備、管理	

# 麻機遊水地生きもの図鑑の印刷発行について

## (1) 印刷・発行時期

年度内に印刷を完了する予定です。2024 年度に発行予定です。

## (2) 入手手段

麻機遊水地周辺施設およびホームページ上で申請・入手できるよう検討してまいります。

## (3) 金額設定について

金額の設定は、第 16 回総会結果、有識者の意見および印刷製本費等を加味し決定いたしました。

**本体金額 800 円**

作成している生きもの図鑑は、「**協賛商品**」とし、募金に対する返礼品として扱う予定です。



図 1. 図鑑表紙



図 2. 図鑑内容 (抜粋)



## -2023 年度 植物相・植生調査 結果報告(第 2-1 工区)-

2023 年度は、麻機遊水地の自然再生事業の推進にあたり、自然環境に関するデータの蓄積の一環として、第 2-1 工区の植物相調査（春～初夏、夏、秋）及び植生調査（秋）を実施しました。本調査は、第 2-1 工区に加藤島エリア、立石エリア、安東川エリアで実施しました（下図参照）。

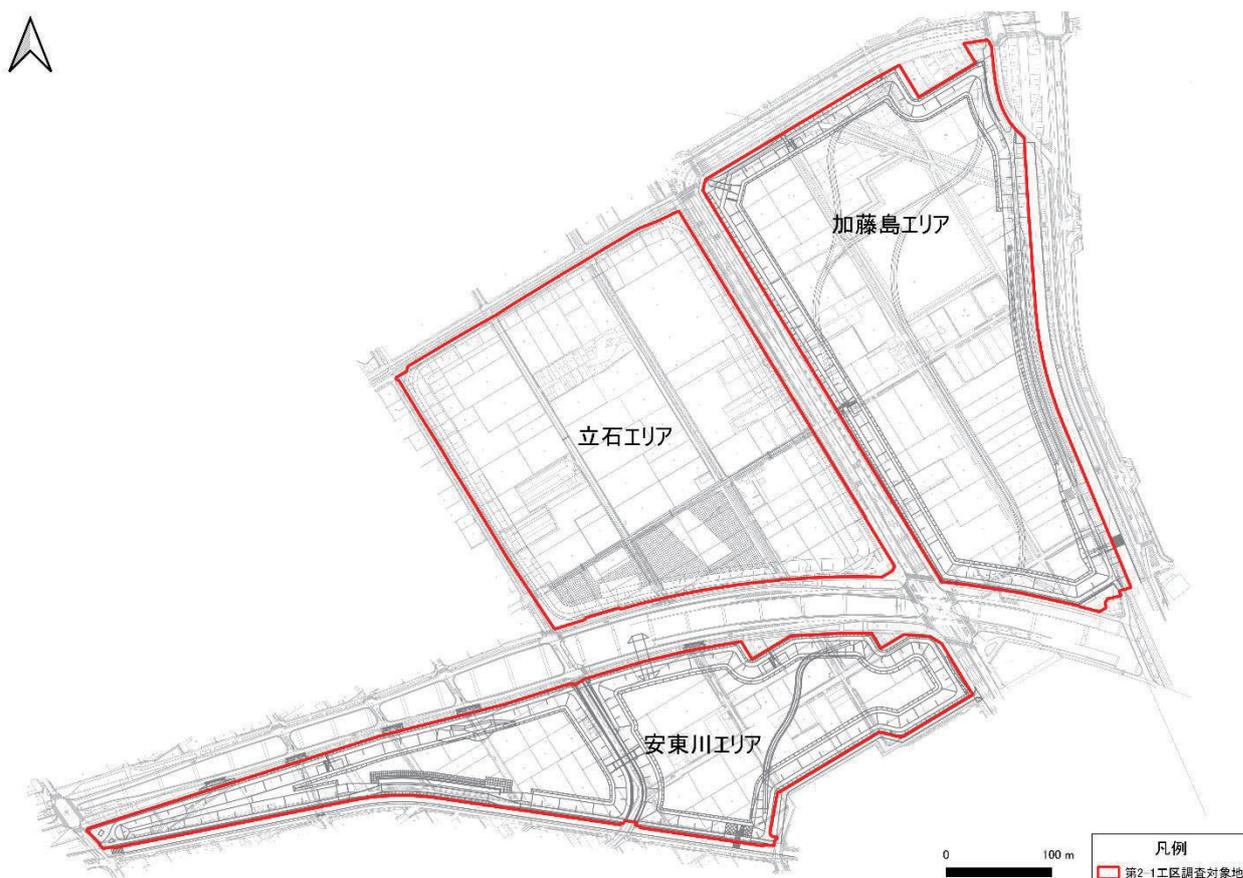


図 調査対象地（地第 2-1 工区）



# 1. 調査結果

## 1.1 植物相調査

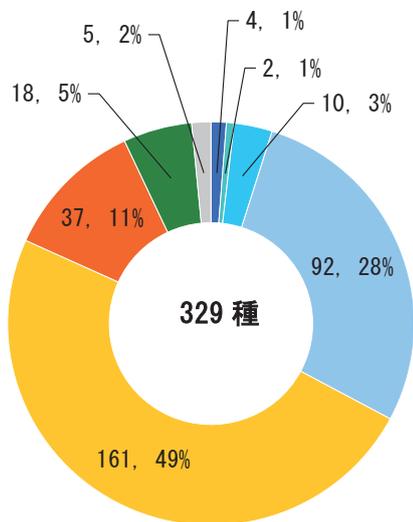
現地調査（春～初夏、夏、秋）で確認した維管束植物は、全調査エリアで 70 科 329 種であった。分類別ではシダ植物が 6 種と少なく、スギナ、トクサ、カニクサなど市街地でも普通にみられる種が中心であり、残りは全て被子植物で、裸子植物の確認はなかった。

確認種を生育環境ごとにみると、アレチハナガサ、コセンダングサ、セイタカアワダチソウ、など草原性植物が最も多く、全確認種数の 49%（161 種）であった。次いで、イグサ、オギなどの湿地性植物が 28%（92 種）、アカメガシワ、ヌルデなどの林縁性植物が 11%（37 種）であった。この他、遊水地の水辺環境を特徴づける種として、アオウキクサ、ウキクサなどの浮遊性植物、ヒシ、コオニビシの浮葉性植物、ヒメガマ、ヨシなどの抽水性植物を確認した。

表 確認種の分類群別の内訳表

分類群	調査エリア						総計	
	加藤島エリア		立石エリア		安東川エリア			
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	科数	種数
シダ植物門	2	4	3	3	2	4	3	6
種子植物門	裸子植物亜門	0	0	0	0	0	0	0
	被子植物亜門	2	3	2	2	1	1	2
	単子葉類	12	68	10	66	8	57	14
	真正双子葉類	48	171	37	127	39	128	51
合計	64	246	52	198	50	190	70	329

注) 分類は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 5 年度生物リスト」に従った。



注 1) 生育特性区分は主に以下の文献に従い区分した。  
奥田重俊編(1997)生育環境別野生植物図鑑. 小学館, 東京

注 2) 生育特性区分は以下のとおり。  
浮遊植物(浮遊): 水底に根をはらず、植物体が水中や水面を浮遊する植物  
浮葉植物(浮葉): 水底に根をはり、茎や葉柄を伸ばして葉が水面に浮かぶ植物  
抽水性植物(抽水): 水底に根をはり、茎や葉を水面より上に伸ばす植物  
湿地性植物(湿地): 沈水、浮葉、抽水植物以外の湿地や湿原に生育する植物  
草原性植物(草原): 主に草原に生育する植物  
林縁性植物(林縁): 主に林縁に生育する植物  
森林性植物(森林): 主に森林内に生育する植物

図 生育環境特性別の確認種数・割合

### 1.1.1 重要種

現地調査で確認した重要種（静岡県版レッドデータブック、環境省レッドリスト）は、4科4種であった。水深の浅い場所や水際で、タコノアシ、ウスゲチョウジタデ、カワヂシャ、ミゾコウジュを確認した。また、ミゾコウジュは歩道近くの湿性な草地でも確認があった。

表 現地調査で確認した重要種一覧

科名	和名	重要種選定基準		調査エリア			総計
		静岡県 RDB	環境省 RL	加藤島エリア	立石エリア	安東川エリア	
タコノアシ	タコノアシ	NT	NT	31 地点 357 個体/ 13 地点 9,366 m <sup>2</sup>	62 地点 760 個体/ 8 地点 1,426 m <sup>2</sup>	35 地点 824 個体/ 9 地点 2,563 m <sup>2</sup>	128 地点 1,941 個体/ 30 地点 13,355 m <sup>2</sup>
アカバナ	ウスゲチョウジタデ	NT	NT	-	1 地点 1 個体	1 地点 1 個体	2 地点 2 個体
オオバコ	カワヂシャ	-	NT	1 地点 1 個体	-	3 地点 14 個体	4 地点 15 個体
シソ	ミゾコウジュ	NT	NT	2 地点 12 個体	-	-	2 地点 12 個体

注1) 科名、和名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和5年度生物リスト」に従った。

注2) 重要種選定基準

・静岡県 RDB：静岡県版レッドデータブック 2020（静岡県，令和2年3月31日発行）

NT：準絶滅危惧

・環境省 RL：環境省レッドリスト 2020（環境省，令和2年3月27日公表）

NT：準絶滅危惧

注3) 重要種の生育量が少量の場合は概算の個体数、大量の場合は分布範囲の面積（m<sup>2</sup>）を記録した。



タコノアシ

(R5.10.13 撮影)



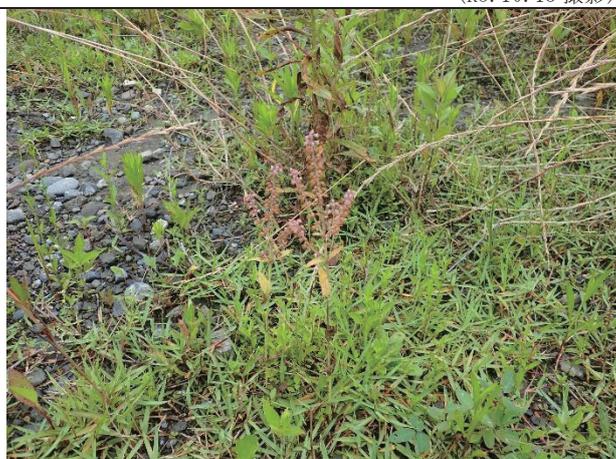
ウスゲチョウジタデ

(R5.10.13 撮影)



カワヂシャ

(R5.6.15 撮影)



ミゾコウジュ

(R5.10.13 撮影)

写真 現地調査で確認した重要種

### 1.1.2 外来種

現地調査で確認した外来種は 115 種（特定外来生物 2 種、生態系被害防止外来種 40 種、それ以外のその他外来種 75 種）であった。

全確認種数に占める外来種の割合（帰化率）は、35.0%で、第 1 工区 28.0%（令和 3 年度）、第 3 工区 25.9%（令和 4 年度）、第 4 工区 27.6%（令和 3 年度）と比較して高かった。第 2-1 工区は第 1 工区、第 3 工区、第 4 工区と比較して、造成からの時間が経過しておらず、人為的な影響を受けた環境が多くあるため、外来種の確認種数が多く帰化率が他工区と比較して高くなったと考えられる。

エリアごとにみると、全てのエリアが帰化率 33%を超えており、中でも加藤島エリアが最も高く 35.8%で、次いで立石エリア 33.3%、安東川エリア 33.2%であった。

また、現地調査（春～初夏、夏季、秋季）で確認した特定外来生物は、ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャの 2 種であった。

表 現地調査で確認した特定外来生物

科名	和名	重要種選定基準		調査エリア			総計
		外来生物法	外来種リスト	加藤島エリア	立石エリア	安東川エリア	
ヒユ	ナガエツルノゲイトウ	特定	緊急	15 地点 180 m <sup>2</sup>	-	-	15 地点 180 m <sup>2</sup>
オオバコ	オオカワヂシャ	特定	緊急	2 地点 2 個体/ 1 地点 435 m <sup>2</sup>	2 地点 15 個体	-	4 地点 17 個体/ 1 地点 435 m <sup>2</sup>

注 1) 科名、和名及び配列は原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 5 年度生物リスト」に従った。

注 2) 外来植物の区分は以下のとおり。

- ・外来生物法：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成 16 年 6 月 2 日法律第 78 号）  
特定：特定外来生物
- ・外来種リスト：我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）  
（環境省・農林水産省、平成 27 年 3 月 26 日公表）

緊急：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種） 緊急対策外来種

注 3) 特定外来生物の生育量が少量の場合は概算の個体数、大量の場合は分布範囲の面積（m<sup>2</sup>）を記録した。



ナガエツルノゲイトウ

(R5.6.15 撮影)



オオカワヂシャ

(R5.6.15 撮影)

写真 現地調査で確認した特定外来生物



図 麻機遊水地第 2-1 工区の特定外来生物確認位置図

## 1.2 植生調査

第2-1工区では、浮葉植物群落、一年生草本群落、多年生広葉草本群落、単子葉草本群落、ヤナギ高木林、その他の低木林、グラウンドなど、人工構造物、開放水面の各分類に該当するものとして、計22の群落区分を確認した。

確認した群落区分のうち、土地利用を除く植物群落は17群落で、第2-1工区の83%を占めた。植物群落のうち最も面積が広がったのは、単子葉草本のヒメガマ群落(51%)で、次いで一年生草本のオオブタクサ群落(9%)の順であった。

調査エリア別では、3調査エリアともに整備により掘削された池沼部はヒメガマ群落の占める割合が高かった。陸域は安東川エリア、立石エリアでは遷移初期に侵入する一年生草本のオオブタクサが占める割合が高く、陸域の造成から年月が経過していないことが推察される結果であった。また、加藤島エリアでは、多年生広葉草本のセイタカアワダチソウ群落、アレチハナガサ群落や単子葉草本のオギ群落の占める割合が多く、陸域の環境が安定している場所が多いと考えられる。

表 現地調査で確認した群落区分

凡例	植生基本分類	群落名	調査エリア			総計	
			安東川 エリア	加藤島 エリア	立石 エリア		
	浮葉植物群落	ヒシ群落	0%	1%	0%	1%	
	一年生草本群落	オオイヌタデーオオクサキビ群落	0%	1%	1%	1%	
		コセンダングサ群落※	4%	2%	2%	2%	
		メヒシバーエノコログサ群落	0%	1%	1%	1%	
		オオブタクサ群落※	20%	1%	10%	9%	
		ツルマメ群落	0%	0%	2%	1%	
	多年生広葉草本群落	ヨモギーメドハギ群落	0%	0%	0%	0%	
		アレチハナガサ群落※	0%	4%	0%	1%	
		セイタカアワダチソウ群落※	5%	9%	7%	7%	
	単子葉草本 群落	ヨシ群落	3%	0%	4%	2%	
		オギ群落	2%	8%	4%	5%	
		その他の 単子葉草 本群落	ヒメガマ群落	51%	42%	61%	51%
			キシユウスズメノヒエ群落※	0%	2%	0%	1%
			イグサ群落	0%	0%	1%	0%
			タチスズメノヒエ群落※	1%	0%	0%	0%
	ヤナギ高木林	コゴメヤナギ群集	1%	0%	0%	0%	
	その他の低木林	ネザサ群落	0%	0%	0%	0%	
	グラウンドなど	人工裸地	0%	3%	2%	2%	
	人工構造物	構造物	0%	0%	0%	0%	
		コンクリート構造物	3%	4%	0%	3%	
		道路	8%	3%	0%	3%	
	開放水面	開放水面	4%	17%	4%	9%	
総計			100%	100%	100%	100%	

※：外来種（おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物（国外外来種））が優占する群落を示す。

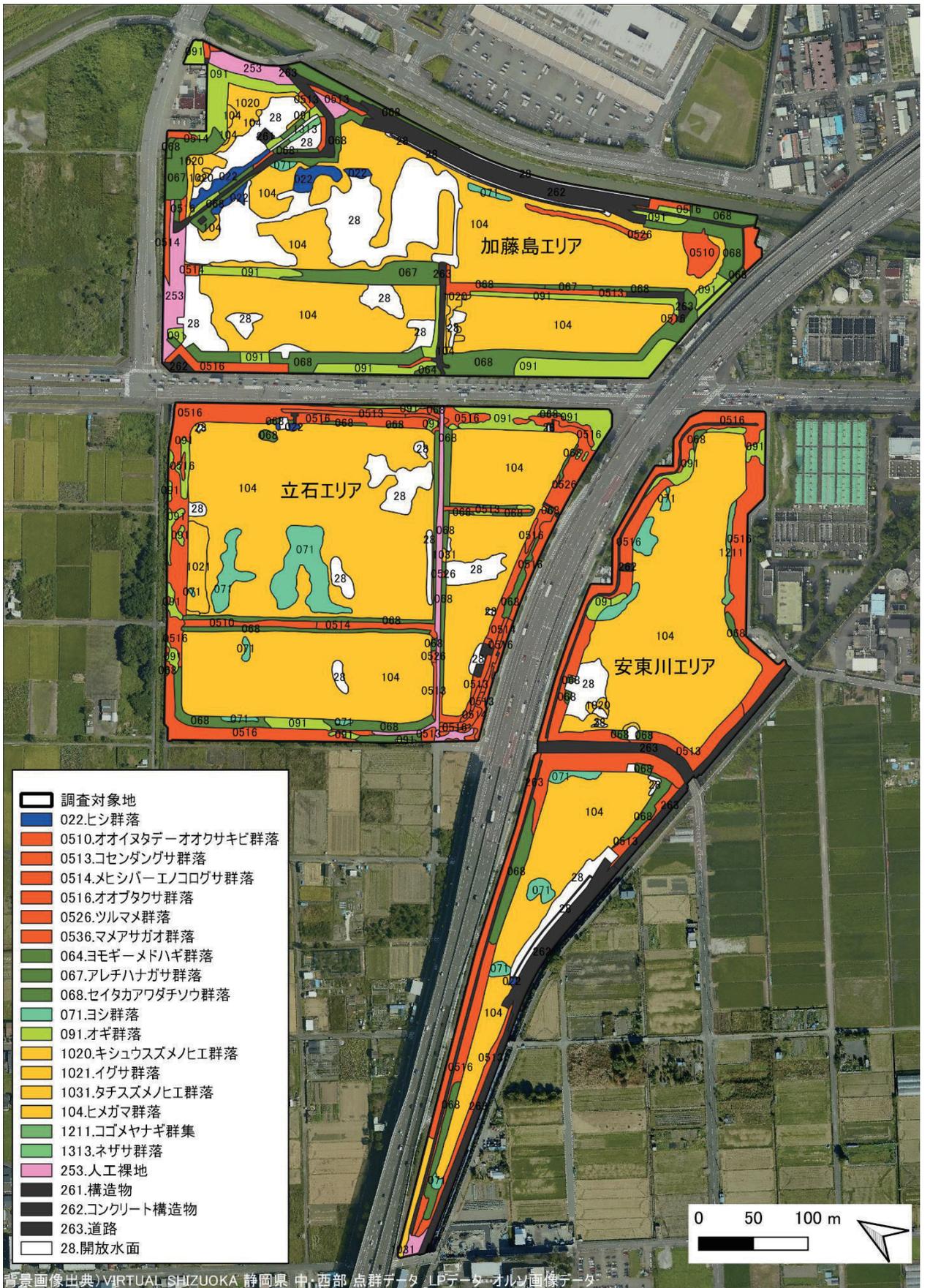


図 麻機遊水地第2-1工区 植生図

## 2. 課題・提案

### 2.1 植生遷移の進行に対する保全対策（定期的な湿地の攪乱）

今年度調査で確認された重要種は、整備に伴う攪乱により発芽した、攪乱依存種が多く含まれる。それらは、ヒメガマやヨシなどの繁茂、ヤナギなど高木の生長により生育の場を失う可能性がある。このため耕耘などの人為的攪乱を行うことによって攪乱依存種の保全を図ることが望ましい。耕耘の継続は一年草を保全するための有効な管理手法であることが確認されている（中本ら 2001）<sup>1</sup>ことから、一年草の重要種を多く出現させるためには、耕耘を毎年行うような頻度の高い攪乱が必要であると考えられる。

一方で、タコノアシ等の多年草を重点的に保全する場合は、掘削から2～4年経過しても出現していること、楠本（2006）<sup>2</sup>によるとタコノアシを含む水湿植物優占タイプの群落は3年に1回程度の耕起が行われる場合に成立するとしていることから、耕耘の間隔としては2～3年が適していると考えられる。

表 湿地の人為的攪乱の方法（案）

重要種	生活型	方法
ウスゲチョウジタデ	一年草	耕耘1年に1回
カワヂシャ	越年草	耕耘2～3年に1回
ミゾコウジュ	越年草	
タコノアシ	多年草	

#### 2.1.1 特定外来生物の除去

第2-1工区で確認した特定外来生物（ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ）の効果的な除去方法を以下に示す。

ナガエツルノゲイトウは根や茎の破片から再生するため、植物体を残さないよう抜き取る手法が有効である。本種は種子を作らないが、除去作業の時期はナガエツルノゲイトウの確認が容易な4～10月の開花期が望ましい（冬季は葉が枯れ目立たない）。本種は巴川に面する加藤島エリアのみで確認されていることから、巴川に繁茂する個体が越流により侵入した可能性が考えられる。現時点は、群落規模が小規模であり、侵入初期～分布拡大時期であると考えられ、連通部を通して他のエリアに分布が拡大しないよう早期の除去が重要である。ただし、巴川流域に群生するナガエツルノゲイトウが供給源となり、台風や大雨などの増水時に越流堤部から遊水地内に侵入することが予想されることから、巴川や浅畑川も含めた水系単位での対策が効果的である。

オオカワヂシャは、クローン成長を行うため、残った茎などから再生しないよう、植物体を残さないよう抜き取る手法が有効である。除去作業は、種子の供給を防ぐため、特に種子散布前に行うことが重要である。また、除去作業は形態が類似する重要種のカワヂシャと混同しないよう留意する必要がある。このほか、カワヂシャとオオカワヂシャの交雑種である、ホナガカワヂシャを確認した場合についても同様の方法で除去する。

表 特定外来生物の除去の効果的な方法

和名	生活型	方法	除去作業の適期
ナガエツルノゲイトウ	多年草	植物体を残さないよう抜き取る	4～10月（開花期）
オオカワヂシャ	一年草～多年草	植物体を残さないよう抜き取る	4～6月中旬（開花～結実前）

<sup>1</sup> 中本学・関岡裕明・下田路子・森本幸裕（2001）復田を組み入れた休耕田の植生管理：ランドスケープ研究 65(5) 585-590

<sup>2</sup> 楠本良延・大黒俊哉・井手任（2006）休耕・耕作放棄水田の植物群落タイプと管理履歴の関係：農村計画論文集 7, 7-12

### 3. 現地調査計画

麻機遊水地の令和6年度以降の調査スケジュール（案）を表に示す。ただし、実施する調査項目及び調査内容は、調査計画時の各工区の状況に応じて適宜変更する。

表 麻機遊水地の令和6年度以降の調査スケジュール（案）

工区	調査項目	調査時期	H30年 (2018)	H31/R1 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	R7年 (2025)	R8年 (2026)	R9年 (2027)	R10年 (2028)
第1工区 (22ha)	植物相調査	春～初夏				●					○		
		夏				●					○		
		秋	●			●						○	
	植生調査	植生図 群落組成	夏～秋		●					○			
第2-1工区 (28ha)	植物相調査	春～初夏						●					○
		夏						●					○
		秋						●					○
	植生調査	植生図 群落組成	秋					●		●			○
第3工区 (55ha)	植物相調査	春～初夏					●						○
		夏					●						○
		秋	●				●						○
	植生調査	植生図 群落組成	夏～秋		●				○				
第4工区 (32ha)	植物相調査	春～初夏				●					○		
		夏				●					○		
		秋	●			●					○		
	植生調査	植生図 群落組成	夏～秋		●				○				

凡例) ●：実施済 ○：実施予定

注1) 植物相調査の方法

平成30年度：確認した重要種（環境省レッドリスト掲載種、静岡県レッドリスト掲載種）及び外来種（特定外来生物、生態系被害防止外来種リストに基づく緊急対策外来種、重点対策外来種）の確認場所、確認環境、個体数等を記録

令和2年以降：確認した維管束植物の和名を記録。重要種（静岡県版レッドデータブック、環境省レッドリスト）及び外来種（特定外来生物）については、確認場所、確認環境、個体数等を記録。

## 調査データ等の公開について

協議会でこれまで蓄積された調査データ等について、一般公開することを検討しております。皆様の活動にご活用いただけるよう努めてまいります。またお手持ちのデータ等があれば、ご提供いただけると幸いです。

これまでの協議会の活動の中で蓄積された様々な調査データを一般公開することを検討しています。多くの皆様に活用していただけるよう努めてまいります。またお手持ちに公開したい情報などがあればご相談いただけると幸いです。

### < 活用イメージ（例） >

#### ○ 自然再生や利活用の取組みの促進

- ・ 植生調査で得られた植生分布図を参考に、特定外来生物駆除を計画する。

#### ○ 活動の内容や効果を説明する

- ・ 活動の記録（確認生物種数、イベント概要、参加人数など）を公開して、活動の内容や効果の説明資料にする。

## 1. 公開方法の基本方針

- 1-1. 『自然環境調査に係る生物多様性情報の整備と発信のガイドライン』（環境省 2023）を参考に公開方法を整備する。



ガイドラインの詳細はこちら⇒

- 1-2. 公開はインターネット上で行う。

## 2. 留意事項

### 2-1. 希少種の情報

盗掘等を防止するため、希少種の詳細な位置が把握できるデータは公開しない。

### 2-2. データの権利

データ提供者の権利を守るため、適切なライセンスを検討する（例：CC ライセンス）。

### 2-3. フォーマット

公開フォーマットは、「活用のしやすさ」と「公開のしやすさ」に留意して設定する。

【参考：CC ライセンス (Creative Commons) とは】

CC ライセンス (Creative Commons) とは、インターネット時代のための新しい著作権ルールで、データを公開する作者が「この条件を守れば私のデータを自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです。



CC ライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができます。

## 令和 6 年度の遊水地フェスタについて

本年度は、5年ぶりとなる第8回遊水地フェスタを開催し、約500人の方にご来場いただきました。アンケートによると、参加者の半数以上が遊水地に初めて訪れ、8割以上がまた訪れたいと感じており、遊水地の魅力発信として効果的だったと考えられます。この結果を踏まえ、事務局では令和6年度も遊水地フェスタの開催を考えております。

### 1. 遊水地フェスタの趣旨

遊水地を含む麻機地域の魅力発信を目的に実施しています。

麻機遊水地で活動している団体、周辺施設、企業、お店をメインに出展をし、麻機の魅力や取組み、治水効果などについて楽しみながら知っていただくイベントです。

### 2. 遊水地フェスタ実行委員会について

遊水地フェスタの実施に向けて「令和6年度遊水地フェスタ実行委員会」を組織いたします。募集は協議会HP上で行うほか、協議会会員へお声かけをさせていただきます。

### 3. 遊水地フェスタ出展者募集について

遊水地フェスタ当日の出展希望者を募集します。以下のような方を想定しています。

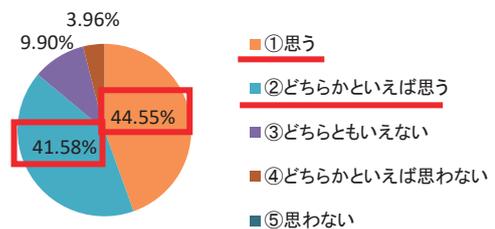
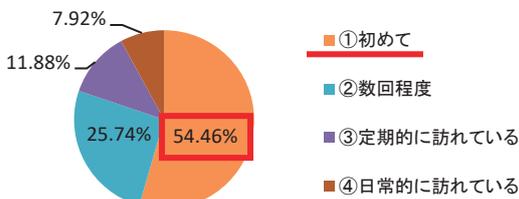
- ・麻機で自然再生、利活用に関わる取組みを行っている方
- ・麻機遊水地近辺で事業・お店をやっている方
- ・麻機地域に所縁のある方
- ・麻機でイベントを行っている方

募集は協議会HP上で募集を行うほか、会員へのお声かけをさせていただきます。

### 【参考：第8回遊水地フェスタアンケート結果（抜粋）】

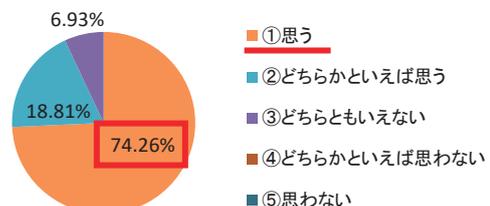
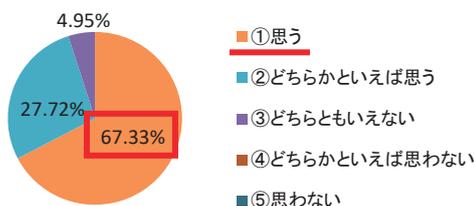
問. いままでに麻機遊水地に来たことがありますか

問. また遊水地を訪れたいですか



問. 他の遊水地のイベントにも参加してみたいですか

問. 麻機遊水地の自然や歴史文化、治水事業について知ることができましたか





# 2023年 第8回 麻機遊水地フェスタ 開催結果概要

第8回麻機遊水地フェスタは、新型コロナウイルスに関する社会情勢が変化したことを踏まえ、5年ぶりに開催致しました。会場をヘリポート側の一部に集約し、20の体験、展示、飲食の様々なブースを出展しました。天候にも恵まれ、約500人の来場者がイベントを楽しんでいました。また親子連れが多く、カヌーに乗船するなど楽しむ様子が見られました。来場者を対象にアンケート調査を実施したところ、約7割の方から「楽しかった」、「遊水地の他のイベントにも参加してみたい」という回答をいただきました。今回のフェスタは多くの企業・団体の皆様にご協力いただき開催することができました。ありがとうございました。



来場者数 約500人



遊水地産の野菜配布  
(ベーター麻機部会)



あさはた緑地紹介ブース  
(あさはた緑地公園)



運動診断ブース  
(ふれあい健康増進館ゆらら)



治水についてのパネル展示  
(静岡県静岡土木事務所)



地元野菜・流木の販売  
(麻機学区自治会)



高所作業車体験  
(文化シャッター㈱)



働く重機とふれあおう  
(㈱アースシフト)



ドローン展示・VR飛行体験  
(㈱アースシフト)



ネイチャークラフト体験  
(環境アセスメント協会)



帽子ブローチのクラフト  
(麻機学区自治会)



青空ステージ  
(北龍太鼓)



青空ステージ  
(麻機太鼓)



青空ステージ  
(静岡女子高和太鼓部)



青空ステージ  
(静岡高等学校吹奏楽団)



焼き菓子、飲み物などの販売  
(社会福祉法人愛誠会)



お弁当・お惣菜の販売  
(松のや)



駄菓子・手作り味噌の販売  
(麻機学区自治会)



柴揚げ漁実演(柴入れ)  
(麻機柴揚げ漁保存会・東海大学水棲生物研究会)



カヌー体験  
(服部エンジニア㈱、㈱古川組、しずおか流域ネットワーク)



麻機の歴史文化紹介  
(麻機村塾)



遊水地の鳥・昆虫の写真展  
(麻機遊水地保全活用推進協議会  
専門委員)



植物の展示・紹介  
(麻機ウェットランドクラブ)



遊水地の魚類展示  
(東海大学水棲環境研究会)



体験したものを見せ合う  
子供たち



## 麻機遊水地保全活用推進協議会規約の一部改正について(案)

麻機遊水地保全活用推進協議会規約における『別表 1 (第 4 条、第 5 条関係)』について、機構改正による組織名の変更のため、規約を一部改正する。

別表 1 (第 4 条、第 5 条関係) ) 改正前

区分	委員
会長	東海大学名誉教授 田中博通
学識経験者	専門委員会の専門委員
地域代表	城北学区自治会連合会会長 竜南学区自治会連合会会長 千代田東学区自治会連合会会長 麻機学区自治会連合会会長 流通センター地区代表
行政機関	静岡県交通基盤部河川砂防局河川海岸整備課長 静岡県静岡土木事務所長 静岡県健康福祉部企画政策課長 静岡市企画局企画課長 静岡市環境局環境共生課長 静岡市保健福祉長寿局健康福祉部障害福祉企画課長 静岡市都市計画部公園整備課長 静岡市建設局土木部河川課長
部会	部会長 副部会長

別表 1 (第 4 条、第 5 条関係) ) 改正後

区分	委員
会長	東海大学名誉教授 田中博通
学識経験者	専門委員会の専門委員
地域代表	城北学区自治会連合会会長 竜南学区自治会連合会会長 千代田東学区自治会連合会会長 麻機学区自治会連合会会長 流通センター地区代表
行政機関	静岡県交通基盤部河川砂防局河川海岸整備課長 静岡県静岡土木事務所長 静岡県健康福祉部企画政策課長 静岡市企画局企画課長 静岡市環境局環境共生課長 静岡市保健福祉長寿局健康福祉部障害福祉企画課長 静岡市都市計画部公園建設管理課長 静岡市建設局土木部河川課長
部会	部会長 副部会長



## 第1工区「あさはた緑地交流広場」近況報告

あさはた緑地管理事務所  
所長 木下 聡

令和3年4月1日にオープンしたあさはた緑地は、開園からまもなく丸3年目を迎え、おかげさまで少しずつ認知度も上がり、各種イベントも定着してきました。

## § 環境教育・ESD 実践動画 100 選に選ばれました！

環境省が教育現場などで活動する方々のヒントになるような優良実践事例を募集、選定して発信している事業で、昨年夏の募集に応募し、選定いただきました。

毎年夏に実施している「自然あそび教室」を取り上げました	実践動画紹介サイト
	 あさはた緑地応募動画 

## § 第4回グリーンインフラ大賞「優秀賞」を受賞しました！

国交省が主催する、自然環境が持つ機能をインフラとして捉えて社会課題の解決につなげている事例を表彰している賞。

あさはた緑地が有する防災機能、湿地の生態系保全、公園という3要素がそれぞれに相乗効果を生んでいる点や、それを市民の方々と一緒に進めている点などをアピールし、「優秀賞」に選定いただきました。

国交省報道発表サイト



## § あさはた緑地サポーター

2023年3月から公園ボランティアの活動を本格的に始めました。

これまでに60名以上の方が登録してくださっており、環境学習に参加する児童の保護者を中心とした「キツネノボタン」というチームによる水辺整備の活動があったり、農園エリアでは年間を通じて「田んぼのあそび場」活動として田植えから、稲刈り、そしてできた餅米を食べる餅つき大会までを一緒に行ったり、各種イベントのスタッフなどとしても活躍していただいています。

水辺整備ボランティア「キツネノボタン」	稲刈り（田んぼのあそび場活動）
	

## § 地域連携

2023年度は開園以来続いたコロナ禍が終息したことで、イベントも増え、交流も進んで地域連携も一層広がりました。

地域のふれあい夏祭りが麻機小学校から会場を替えて実施されましたし、冬はJAの3地域合同の農業祭の会場として活用いただきました。

また、農園エリアでは麻機小学校の児童が地域を学ぶ授業の一環でれんこん畑の除草と収穫を手伝ってくれたり、静岡北特別支援学校では採れたれんこんを「ふるさと給食」で使っていただきました。

麻小3年生によるれんこん畑の除草作業	あさはた緑地で育てたれんこんの納品
	